

公表

保育所等訪問支援 事業所における自己評価結果

事業所名		瑞浪市子ども発達支援センターぼけっと				※今年度、契約者なし。 公表日		令和 8 年 2 月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		状況に応じた様々な教材や支援方法を考えている。				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置数は十分に感じる。実際に利用児が出た時の配置については、検討をした方が良いのではないかと。	通所支援との兼務体制のため、利用希望児が出た時の体制については、今後検討していく。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		年度始めに業務目標を作成しており、全職員で定期的に業務の振り返りを行っている。				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		通所支援事業の保護者向け評価表でも、職員間で共有し、改善に向けて考えることができる。日頃から改善の体制がある。	今後も、同様に対応をしていく。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日職員会を開催している。意見交換し、業務改善に繋げている。				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		運営委員会にて、各関係機関より助言を受けている。				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		十分に確保されている。研修内容の共有も頻繁にされている。				
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。				アセスメントシートの見直し等もしながら、保育所等訪問支援計画の作成が適切かつ円滑にできるように準備している。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				他事業においても職員間での個別支援計画作成会議を大切にしているため、同様に行っていく。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。				施設の事業として、園に訪問する機会を設けており、その際に情報共有をしている。その他にも電話等でも適宜、連携をしている。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				他事業においても職員間での個別支援計画作成会議を大切にしているため、同様に行っていく。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。				発達検査結果や発達質問紙等を利用し、幅広い視点で子どもの発達状況を捉えることができるよう努めている。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。				ガイドラインについて、内容を把握しており、それを反映した計画を作成する予定である。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。				今年度、サービスを実施していないが、実施する際には計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を実施する予定である。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				サービスを実施する際には、打ち合わせを行う予定である。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				サービスを実施する際には、振り返りの共有を行う予定である。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。				サービス実施の際は、訪問先の支援方法や理念を尊重し、支援の実施ができるように訪問先との事前の打ち合わせを綿密に行う。			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。				サービス実施の際は、詳細に記録を記載し、支援の検証ができるよう努めたい。			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				サービス実施の際は、丁寧なモニタリング実施後に計画見直しができるよう努めたい。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参加し、その後職員に情報伝達している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関との情報共有ができています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		通所児の就学先の見学、担当教員との情報交換の機会がある。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		研修の機会があり、参加できている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		内容に関しては参加者から聞き、共有できている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		児童発達支援、放課後等デイサービスでは、十分に保護者と話す時間を確保し、共通理解できている為、同様に実施できると思う。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングを開催している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				利用前の面談時に説明を行うこととしている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。				職員間で、事業の内容について周知する機会を設けていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				アセスメント作成の際に、保護者からの聴き取りを行い、意向を確認しながら計画を作成する
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。				利用の際には、計画に基づいた説明と同意を得る。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。				支援実施後に、保護者との面談を行う予定である。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				親の会活動を支援している。 座談会等、交流の機会を設けている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				適宜、相談に応じられる体制がある。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。				月に1回の施設だよりを発行している。 今後とも同様に作成し、HPに掲載する。
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				取扱いには十分注意している。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				アセスメントの際に把握し、配慮に努めている。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。				園や学校との情報共有、支援方法の共有ができており、適宜対応できる体制がある。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。				サービス実施の際には、カンファレンスを行うことができるよう訪問先と調整を行いたい。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。				今後も、保護者との情報共有について、意図や方法、タイミングなど学ぶ機会を設けていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				個人情報の扱いには、十分に気を付けている。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。				適宜、相談には丁寧に対応している。情報の共有もしながら、お互いにより良い支援ができるように考えていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの閲覧も容易にできるよう施設内に掲示してある。訓練の際に内容の確認もできている。	訓練を実施している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		保護者に説明をし、訓練や考える事態を想定して話し合う機会もある。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		よく話し合うことができている。	必要に応じ、職員間で共有、対策を考えて行く。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会、研修もあり、内容等の確認もできている。毎月、虐待防止のためのチェックリストも全職員が受けている。	今後も、情報収集と共に研修の機会を設けていく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束にまで至ることが今までない。記載することは研修で学んでいる。	今後も、情報収集と共に研修の機会を設けていく。